



CHAPTER 2

SIP と SDP の正規化

Lua スクリプト作成環境では、SIP メッセージおよびそれに関連するすべてのセッション記述プロトコル (SDP) を操作するための基礎となるオブジェクトを確立します。スクリプトでは、これらのオブジェクトを考慮する必要はありません。次の API セットを使用してオブジェクトにアクセスします。

- **SIP メッセージ API** : これらの API を使用すると、スクリプトで、多様な方法によって SIP メッセージを操作できます。
- **SDP API** : これらの API を使用すると、スクリプトで、多様な方法によって SDP を操作できます。
- **SIP パススルー API** : これらの API を使用すると、スクリプトで、1 つのコール レッグから別のコール レッグへ情報を受け渡しできます。
- **SIP ユーティリティ API** : これらの API には、Uniform Resource Identifier (URI) の解析を SIP URI オブジェクトに組み込んだデータを処理するスクリプトのための役立つユーティリティが用意されています。
- **SIP URI API** : これらの API を使用すると、スクリプトで、解析済み SIP URI オブジェクトを操作できます。
- **Trace API** : これらの API を使用すると、スクリプトで、トレースの有効/無効の切り替え、トレースが有効かどうかの特定、およびトレースの生成を行うことができます。
- **スクリプト パラメータ API** : このパラメータを使用すると、スクリプト作成者は、トランクまたは回線固有の設定パラメータ値を取得できます。

